

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第35週の発生動向

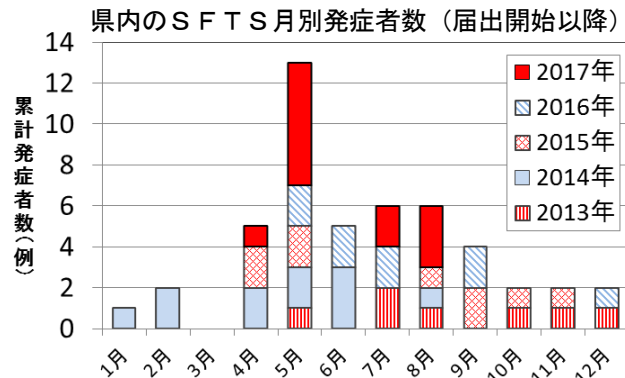
トピックス

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) (全数報告の感染症) :

延岡保健所から1例報告があった。県内での報告は今年12例目で、累計48例(平成25年3月届出開始以降)である。患者は70歳代の女性で、発症は8月下旬である。ダニの刺し口は確認できず、海外渡航歴もなかった。

県内のSFTS年齢別報告数(届出開始以降)

30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	13	18	11	2



全数報告の感染症 (35週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。
- 2類感染症：結核4例。
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例、レジオネラ症1例、レプトスピラ症1例。
- 5類感染症：急性脳炎1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	女	肺結核及び粟粒結核	発熱
			90歳代	男	結核性胸膜炎	咳、痰、発熱、呼吸困難
		都城	70歳代	男	結核性胸膜炎	症状なし
			高千穂	80歳代	男	結核性胸膜炎
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	0~4歳	男	—	血便、O157(VT1、2産生)
4類	重症熱性血小板減少症候群	延岡	70歳代	女	—	発熱、神経症状、下痢、食欲不振、全身倦怠感、血小板・白血球減少、リンパ節腫脹
	レジオネラ症	宮崎市	90歳代	男	肺炎型	発熱、肺炎
	レプトスピラ症	都城	60歳代	男	—	発熱、黄疸、腎不全
5類	急性脳炎	宮崎市	80歳代	男	単純ヘルペスウイルス	発熱、頭痛、項部硬直、痙攣、意識障害

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は890人(定点当たり27.8)で、前週比118%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と咽頭結膜熱で、減少した主な疾患は水痘と手足口病である。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

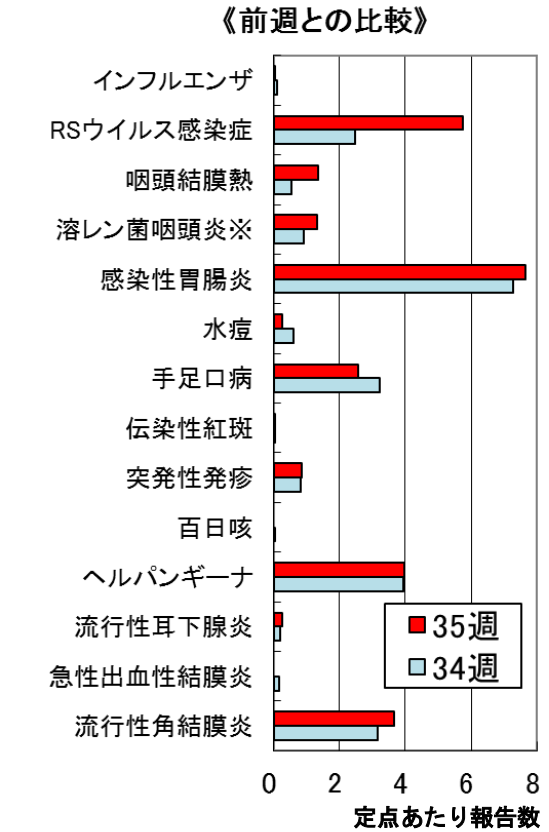
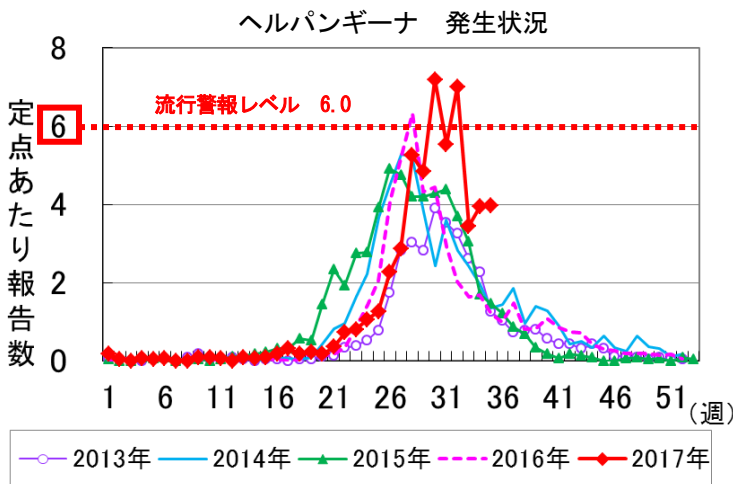
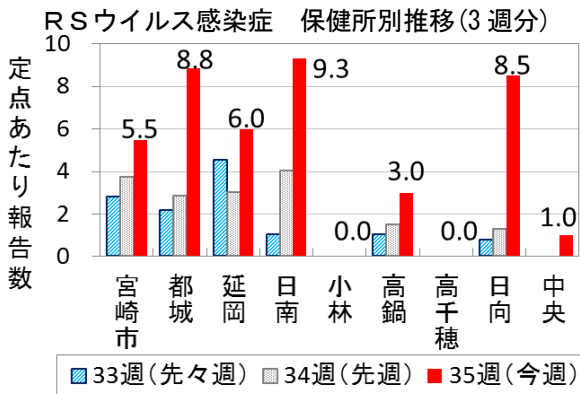
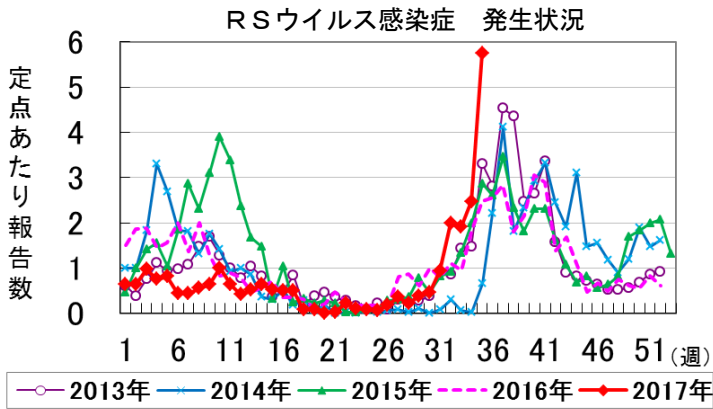
【RSウイルス感染症】

報告数は207人(5.8)で、前週比233%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(2.6)の約2.2倍である。日南(9.3)、都城(8.8)、日向(8.5)保健所からの報告が多く、年齢別は6ヶ月~1歳が全体の約7割を占めた。

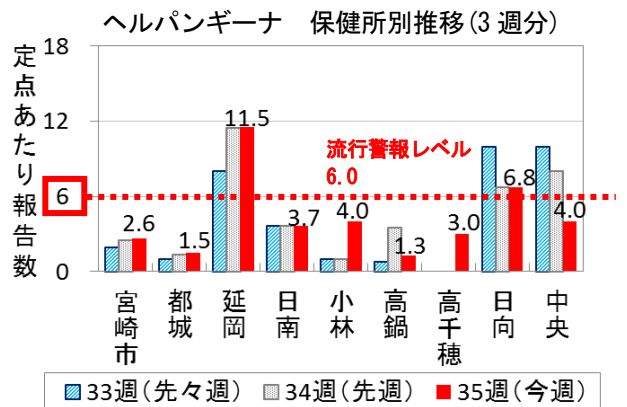
【ヘルパンギーナ】

報告数は143人(4.0)で、前週比101%とほぼ横ばいであったが、例年同時期の定点当たり平均値*(1.6)の約2.5倍である。延岡(11.5)、日向(6.8)、小林、中央(各4.0)保健所からの報告が多く、年齢別は1~2歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★
報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	咽頭結膜熱(4.8)
延岡	手足口病(6.0)、ヘルパンギーナ(11.5)
日南	咽頭結膜熱(3.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	手足口病(5.3)、ヘルパンギーナ(6.8)
中央	なし

＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・手足口病(5.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)

🇯🇵 全国 2017 年第 34 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 34 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	339 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	274 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	6 例	A型肝炎	3 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例
	つつが虫病	1 例	デング熱	15 例	日本紅斑熱	10 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	43 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	12 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	25 例
	急性脳炎	14 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	14 例
	後天性免疫不全症候群	19 例	ジアルジア症	2 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	23 例	水痘（入院例）	1 例
	梅毒	77 例	播種性クリプトコックス症	4 例	破傷風	1 例
	風しん	1 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 113%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと咽頭結膜熱である。

RSウイルス感染症の報告数は 6,601 人(2.1)で前週比 120%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値* (0.44)の約 4.8 倍である。徳島県(4.6)、山形県、新潟県(各 4.3)からの報告が多く、年齢別では 6ヶ月～2歳が全体の約 8割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2017年 第35週(8月28日～9月3日)

疾病名		第34週	第35週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	7	2		2							
	定点あたり	0.12	0.03	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	89	207	55	53	24	28		12		34	1
	定点あたり	2.47	5.75	5.50	8.83	6.00	9.33	0.00	3.00	0.00	8.50	1.00
咽頭結膜熱	報告数	20	49	7	29		9		2			2
	定点あたり	0.56	1.36	0.70	4.83	0.00	3.00	0.00	0.50	0.00	0.00	2.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	33	48	22	4	5	7	2	3		3	2
	定点あたり	0.92	1.33	2.20	0.67	1.25	2.33	0.67	0.75	0.00	0.75	2.00
感染性胃腸炎	報告数	262	275	63	78	4	31	41	11	7	35	5
	定点あたり	7.28	7.64	6.30	13.00	1.00	10.33	13.67	2.75	7.00	8.75	5.00
水痘	報告数	22	10	3	1	3	1	1				1
	定点あたり	0.61	0.28	0.30	0.17	0.75	0.33	0.33	0.00	0.00	0.00	1.00
手足口病	報告数	116	93	19	9	24	6	4	8		21	2
	定点あたり	3.22	2.58	1.90	1.50	6.00	2.00	1.33	2.00	0.00	5.25	2.00
伝染性紅斑	報告数	1	1			1						
	定点あたり	0.03	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	30	31	9	8	2	3	2	2		5	
	定点あたり	0.83	0.86	0.90	1.33	0.50	1.00	0.67	0.50	0.00	1.25	0.00
百日咳	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	142	143	26	9	46	11	12	5	3	27	4
	定点あたり	3.94	3.97	2.60	1.50	11.50	3.67	4.00	1.25	3.00	6.75	4.00
流行性耳下腺炎	報告数	7	9		3	2			1		3	
	定点あたり	0.19	0.25	0.00	0.50	0.50	0.00	0.00	0.25	0.00	0.75	0.00
急性出血性結膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	19	22	14	7	1						
	定点あたり	3.17	3.67	4.67	3.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～35週)

2類感染症	結核	129例(4)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	11例(1)				
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	12例(1)	つつが虫病	6例
	日本紅斑熱	2例	レジオネラ症	8例(1)	レプトスピラ症	1例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	8例
	急性脳炎	4例(1)	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例
	後天性免疫不全症候群	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	13例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	8例	破傷風	4例
	麻しん	1例				

()内は今週届出分、再掲